

◇ 光プロジェクト 為桜グローバルプログラム（IGP）

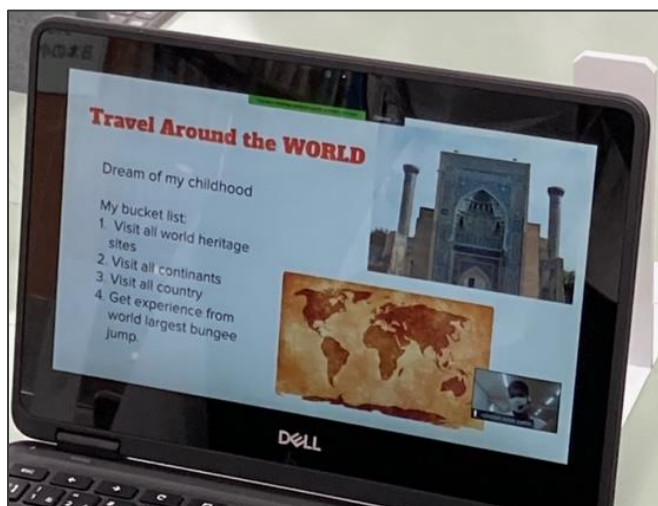
「友好提携都市フランス・エソンヌ県内学校交流プログラム」（第4回）

日 時 ○ 令和4年10月3日（月） 15時00分～16時00分
参加者 ○ 本校1～3年生希望者（20名）
 ○ フランソワ・トリュフォー高校（フランス） 生徒
場 所 為桜図書館（特別棟3階）

🌀 第4回交流会のテーマは、「将来の夢を語る」。終了後はフリートークという形での進行でした。
そして今回は、茨城新聞社の小林久隆記者による取材も行われました（ありがとうございました）。
いつものように、フランス側のスクールバス到着を待って、茨城県営業戦略部国際渉外チームのセイフェンさんとソフィーさんの司会進行により会が始まります。



冒頭こそ通信の不具合による混乱も見られましたが、その都度セイフェンさんが対応してくださり、適宜グループを再編しながら進めることができました。



記者の小林さんからは「なぜ英語での交流なのですか？ フランス語は？」との質問をいただきました。

確かに、お互いにフランス語と日本語を使つてのコミュニケーションが実現すれば理想的ですが、現在の高校のカリキュラムの中でフランス語を習得することは難しいのが現実です。今はお互いに挨拶と自己紹介までしかできませんが、たとえ少しずつであっても、お互いの言語でやり取りできるようになれば素晴らしいと思っています…。





この後、フランスが冬時間に入るため、交流は個人間のメールのやり取りが中心となります。
日本の年度明けである4月か5月には新たな交流会を開くべく、着々と準備を整えていきます。

